

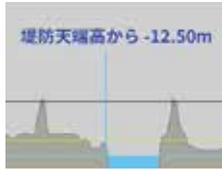
雨の状況や川の水位を配信

国土交通省 「川の防災情報」

避難行動の検討に役立つウェブサイトです。

リアルタイムで確認！

- ・川の水位と危険性
- ・洪水の予報・警報
- ・雨の状況 等



▲ 利根川の水位

川の防災情報

検索



トイレ対策、大丈夫？

浸水時は下水道などが満水となり、トイレの水が流れなくなります。**携帯トイレ**を家族分準備し、使い方を確認しておきましょう。

災害用トイレ



携帯トイレ

便袋を便器へ取り付ける。吸水シートや凝固剤がセットになっている。



簡易トイレ

家の便器等が使えない場合に。写真は、便器を組み立てる簡易タイプ。

1人
1日5回
大1小4

家族4人

7日分

=140回分

CAUTION 避難時の注意事項 CAUTION



高齢者等避難

避難指示

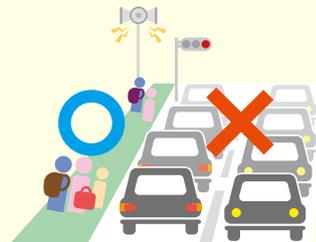
防災行政無線で避難情報を放送する際は、通常のチャイムではなくサイレンを鳴らします。



避難指示発令後は、遠方へ避難する余裕はありません。状況に応じて、在宅避難するか近隣の避難所へ避難してください。



(利根川が危険な場合) 車での避難は、市内であれば、広い駐車場がある総合運動公園または菖蒲文化会館へ。



避難指示発令後に避難する場合は、徒歩が原則です。車での避難は、渋滞で身動きがとれなくなる可能性があります。

マイ避難先に早めの避難を



かぎやはじめ
鍵屋一さん

(跡見学園女子大学教授)

専門は地域防災・福祉防災。内閣府「災害時要援護者の避難支援に関する検討会委員」ほか、多くの防災関連の委員を歴任している。

避難で最も大事なことは「早く逃げる」ことです。逃げるタイミングは行政からの避難指示をギリギリまで待つ必要はありません。ある被災地では「大人はまだ大丈夫と思って、子どもが怖いと言ったら逃げ時」とお聞きしました。災害にならなかつたら「空振り」ではなく「素振り」です。ヒットを打つには本気の「素振り」が大切ですね。

なお、避難とは安全を確保することを意味します。自宅の浸水深が30cm以下で、川そばでなければ自宅に留まっても大丈夫です。これを「在宅避難」と言います。3m以上の浸水深ならば自宅の2階でも危険です。自力で親族、ホテル・旅館などの安全な避難先を確保できる人は、早めに移動しましょう。これを「マイ避難先」と言います。複数のマイ避難先を考えて、事前に避難の訓練をしましょう。

多くの方が、早めにマイ避難先で安全を確保すれば、行政が指定する避難場所の密を防ぎ、新型コロナウイルス感染症対策にもなります。